

洛北開拓農業協同組合 設立 5 0 周年記念

- 記念式典
- 物故者合同慰霊祭
- 記念懇親会

日 時 平成10年11月1日 午前11時

場 所 農協事務所

次 第

受 付	10 : 30 ~
記念式典	11 : 00 ~
慰 霊 祭	11 : 20 ~
懇 親 会	12 : 00 ~

洛北開拓農業協同組合

次 第

■ 記 念 式 典

開式の辞	安枝 久司 理事
国旗掲揚	西村 忠弘・藤原 正三 両監事
挨拶	前原 英彦 組合長
閉式の辞	安枝 久司 理事

■ 慰 霊 祭

開式の辞	安枝 久司 理事
黙 禱	全 員
追悼の辞	前原 英彦 組合長
追悼の辞	藤原 正三 物故者遺族代表
献 花	全 員
閉式の辞	安枝 久司 理事

■ 懇 親 会

司 会 進 行	安枝 久司 理事
招待者 紹介	山田 一雄 理事
挨拶	森下 到 理事
乾 杯	坂下 昭 原谷地区連絡協議会会長
余 興	藤原 正三 監事
閉会のことば	塩見 薫 理事

物 故 者 名

氏 名	死 亡 年 月 日
松 本 留 吉	昭和30年11月11日
高 橋 輝	昭和33年 3月25日
松 本 正 保	昭和33年 4月19日
安 枝 市 郎	昭和43年 7月30日
藤 岡 広 志	昭和49年 6月17日
小 国 太 藏	昭和55年12月27日
長澤竹次郎	昭和60年12月25日
松本幸太郎	昭和62年 5月29日
藤 原 春 正	平成 元年10月21日
塩 見 長 松	平成 3年 7月11日
森 下 巖	平成 3年10月19日
和 田 宗 治	平成 6年 1月27日
長 本 輝 男	平成 7年 4月 4日
平 野 辰 男	平成 8年 5月16日
前原関三郎	平成 9年 9月26日

森下 到	平成16年3月28日
山田一雄	平成16年7月16日
川村勝幸	平成17年9月13日
武内恭次	平成21年4月1日

川村 文子	平成 8年 5月 7日
-------	-------------

長澤 了子	平成11年1月20日
松本ス子	平成15年2月6日
西村ア子	平成19年11月5日
高橋江津子	平成20年3月12日
森下 Y /	平成20年5月27日

組合正組合員名 (アイウエオ順)

川 村 和 泉

藤 原 正 三

塩 見 薫

前 原 英 彦

高 橋 ヤ エ

松 本 昇

武 内 恭 次

松 本 み ち 子

中 川 敦 子

森 下 到

長 澤 春 夫

森 下 満 夫

西 村 忠 弘

安 枝 久 司

平 野 艶 子

山 田 一 雄

平成10年度 組合役員 の 職務分担

組合長代表理事

総 括 渉 外

前 原 英 彦

副組合長理事

公共施設管理

森 下 到

(庶 務 補 佐)

理 事

公共施設管理

山 田 一 雄

理 事

会 計

塩 見 薫

(共有施設管理)

理 事

庶 務

安 枝 久 司

(墓 園)

監 事

西 村 忠 弘

監 事

藤 原 正 三

洛北開拓農業協同組合の歩み（年表）

和 歴	西 暦	内 容
昭和23年	1948年	● 昭和23年10月12日【京都府原谷開拓地】● 先陣第一歩 ● 23年10月18日 洛北開拓農業協同組合設立
24	49	● 24年3月 洛北開拓農業協同組合として京都府知事認可 ● 24年4月29日 第一回定期総会開催 ◇ 24年度予算収入2,046,000円 支出2,046,000円 ● 4月 大家畜の導入 ● 5月 労務加配米の配給を受ける ● 6月 組合事務所落成 ● 7月 原谷建設事務所設置 ● 8月1日 事務所の起工式 ● 9月 開墾地の仮配分実施 ● 入植計画の確定(第3次補充入植者決まる)
25	50	● 5月 建設事業は、総て失業対策事業に切り替わる ● 9月5日 ジェーン台風襲来 被害甚大 ● 12月22日 点灯式・地区内に電気導入
26	51	● 2月1日 土地(耕地・宅地)の確定配分実施 ● 7月 組合を組合員の出資組合へ移行する ● 8月 集中豪雨の為大水害を受ける ● 11月 弁財天の再建する
27	52	● 6月 家畜用飼料にトゲナシアカシヤを導入栽培 ● 8月 市の塵芥を導入
28	53	● 6月 乳牛の導入を積極的に進める ● 7月 地区内初の電話 組合事務所に架設される ● 10月 児童遊園地の設置 ● 慰安大運動会 ● 11月 鶏ひなの助成を受ける
29	54	● 7月 乳牛種牡の導入5万5,000円 ● 堆肥舎の整備10棟分 ● 果樹苗の助成
昭和30年	1955年	● 7月 階段畑造成計画 ● 11月13日 京都府開拓10周年記念大会に参加 ● 12月 階段畑造成事業(機械開墾)実施
31	56	● 7月12日～13日 開拓地の成功検査 ● 地区内幹線道路整備事業継続される ● 農産物共進会開催
32	57	● 6月 耕地部分の測量と追加配分 ● 農協婦人部の設立 ● 甘藍の委託栽培
33	58	● 酪農部・養鶏部・そ菜果樹部設立 乳牛…55頭 鶏…3800羽 ● 地区内幹線道路完成
34	59	● 灌漑施設府より譲渡受ける. 試験放水される

和 歴	西 暦	内 容
昭和35年	1960年	● 開拓者資金・財務整備事業実施 ● 共業経営誕生(三つ葉養鶏) ● 追加配分の土地登記完了する
36	61	● 3月 共業経営洛北牧場誕生 ● 7月 薪炭採草地の配分測量実施 ● 8月 地区内の再測量が実施
37	62	● 2月 京都府開拓15周年記念大会への参加 ● 4月21日 建設事業の竣工式挙行
38	63	● 6月 簡易水道施設の設置 ● 12月6日 入植15周年記念事業(記念碑の除幕式と記念祝賀会)
39	64	● 土地関係の整備事業に努力する ● 薪炭採草地各戸への配布登記完了する
昭和40年	1965年	● 11月23日 京都府開拓20周年記念大会への参加
41	66	● 道路補修事業と災害復旧事業の実施
42	67	● 集中豪雨による連続災害に見舞われる
43	68	● 入植20周年記念事業実施
44	69	● 共有墓地周辺に植樹と整備
45	70	● 組合事務所の改修工事の実施(屋根の葺き替え、窓サッシ工事)
46	71	● 市街化地域順応事業 ● 組合共有倉庫建設 5室
47	72	● 京都府開拓農業協同組合連合会 3月末で発展的解散当洛北開拓農業協同組合唯一継続する事になる ● 市バス誘致運動で試行運転が開始された
48	73	● 入植25周年記念事業として国旗掲揚柱を新設・開拓碑の周囲に柵新設・事務所裏整備を行う ● 25周年記念事業として山陰地方へ一泊二日の旅行を実施 35名参加
49	74	● 共有墓地の石垣ブロック柵等の整備を実施 ● 研修旅行 一泊二日 伊東方面へ 39名参加
昭和50年	1975年	● 農協事務所広場周囲石垣完成 ● 事務所床修理・畳新調 ● 9月チビッコ広場周辺フェンス新設
51	76	● 倉庫一室増設 ● 地区内に上水道工事完成 ● 山陰出石方面へ研修旅行
52	77	● 入植30周年記念事業の一部先行実施(記念碑の周囲鉄製・正門の車止め実施)
53	78	● 入植30周年を組合員全員で盛大に祝う ● 共有墓園内に家畜慰霊碑を建立
54	79	● 市街化の進む地区内で住みよい明るい住環境作りを目指して農協が中心的役割を果たす

和 歴	西 暦	内 容
昭和55年	1980年	● 急速に進む都市化の中、地区住民との協調をはかる年 ● 2月 研修旅行 鷺羽山・後楽園方面 一泊二日 実施 ● 2号水路より松山ゴルフ入り口までの水路整備完了する
56	81	● 急激な地区内宅造等の進展する都市化の中、地区内住民と協調をはかる ● 研修旅行 米子 皆生温泉 一泊二日 参加者 38名
57	82	● 予想を越えた急テンポな宅屋・人口増加・世帯数600を越える ● 農協会館内部にトイレ新設 ● 研修旅行 一泊二日 和歌山方面 勝浦へ
58	83	● 35周年記念事業の一環として農協事務所内外の整備保全 ● 研修旅行 一泊二日 石和温泉 参加者 26名 ● 2号水路を、北部土木事務所が、年度内に改修工事完了する、市への移管
59	84	● 3年越しの取り組みで進めてきた、1号水路の境界確定 京都市移管協議が一部の地権者の異議により不成立、懸案の改修工事の着工は出来ず ● 研修旅行 一泊二日 伊豆 長岡温泉へ 参加者 25名
昭和60年	85年	● 研修旅行 一泊二日 四国 金毘羅様へ 参加者 29名
61	86	● 急激に進む宅地開発・人口増加に対処するため共有施設の維持管理事業及び公共施設の京都市への移管に努力 ● 研修旅行 三河湾 西浦温泉へ 一泊二日 参加者 26名
62	87	● 京都府開拓40周年事業、記念式典が挙行 組合員概ね全員出席 ● 研修旅行 一泊二日 白浜温泉へ 参加者 25名
63	88	● 組合創立40周年記念行事実施 11月19日 記念式典・松山閣にて記念祝賀会 ● 研修旅行 一泊二日 山中温泉 参加者 22名 現地で開拓40周年記念座談会開いた
平成元年	1989年	● 相続税対策等について、講習会開く ● 研修旅行 一泊二日 和倉温泉と金沢兼六園 参加者 25名 ● 組合創立40周年記念誌・刊行
2	90	● 7月 大阪府にて開催の花博覧会見学 参加者 43名 ● 初代組合員夫人死去に対して御香料を送る事 ● 幹線道路整備促進の為の要請運動、峠道の拡幅等地区連絡協議会と協力して進める
3	91	● 市街化地域農地の宅地並み得税に対する生産緑地法の研修会と本申請手続きを実施する ● 研修旅行 北陸 栗津温泉 一泊二日 参加者 28名 ● 158番地(森・安水路)の水路を市への移管について測量と明示を実施

和 歴	西 暦	内 容
平成4年	1992年	● 相続税対策・新設路線価問題について、研修会 ● 入植・初の空路による沖縄 研修旅行 二泊三日 参加者 23名 ● 原谷地区 総合環境整備計画の要望 運動は時期尚早との事で、一時見合わせ保留する ● 農協会館改築推進は、バブル崩壊後の社会情勢を睨み、一時見送る
5	93	● 研修旅行 倉敷・耕三寺 一泊二日 実施 ● 下水道工事に伴う農道に埋設工事中
6	94	● 研修旅行 山代温泉 一泊二日 参加者 26名 ● 京都府開拓者連盟 総会に93名 参加 ● 原谷地区 総合環境整備計画を京都市へ要望・請願実施 ● 婦人部懇談会 実施 参加者 23名
7	95	● 研修旅行 道南視察 二泊三日 実施 参加者 23名 ● 全国開拓50周年記念式典大会に参加 ● 京都府開拓者連盟総会 参加 7名
8	96	● 研修旅行 南九州視察 二泊三日 実施 参加者 30名 ● 弁天池 返還の話し合い 近畿農政局並びに府農林部
9	97	● 研修旅行 北陸方面へ 一泊二日 参加者 16名 ● 幹線道路の整備促進は改修 拡幅され完成 ● 一号排水路の京都市への移管は、水路の敷地の境界確定 ● 弁天池の譲渡について、話し合いの上 権利放棄を決める ● 山腹水路の補修工事120m 亘り実施 ● 原谷地区 居住個数 約1700戸 内開拓入植戸数 16戸
平成10年	1998年	● 組合創設50周年記念行事 ※ 組合の今後の課題 ① 組合員の高齢化と世代の交替により組合に対する考えも変化した 今日組合員相互の親睦とニーズに合った組合の進む方向を考える事 ② 組合共有財産の活用 ③ 組合共有・公共施設(農道・水路・山腹水路)の行政への移管 ④ 組合員数と一般住民数の割合が1パーセントを切った今日、先住入植者としての責務で組合運営を進める